

ホーバーターミナルの名称及びシンボルマークの決定について

令和5年5月9日

1. 名称

ホーバーターミナルおおいた

2. 通称とシンボルマーク



ホー
バー
ター
ミ
ナ
ル
お
お
い
た
Hover Terminal Oita



3. コンセプト

「ホーバーターミナルおおいた」の欧文表記「Hover terminal Oita」から H・O・V・O・T・A(エイチ・オー・ブイ・オー・ティ・エー)を取って、通称「HOV.OTA」(ホボッタ)を設定し、シンボルマーク化しました。名称を省略しながらも「ホーバー」や「おおいた」の語感を残し、また、ホとボの連続や、跳ねる音を取り入れるなどして可愛らしく親しみやすい響きを目指しました。

シンボルマークのデザインは、ターミナル外観の特徴的な形状である「空へと上昇していく」ような勾配を取り入れ構成しています。勾配が文字の大小のリズムを生み、旅への期待感を演出することを目指しました。また、上下のラインは呼び掛ける吹き出しのようにも見え、人が集う場の賑わいを表現します。

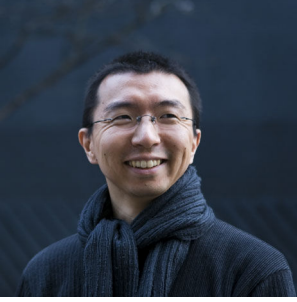
4. 制作者

(1) デザインコンセプト

藤本 壮介(藤本壮介建築設計事務所) × 廣村 正彰(廣村デザイン事務所)

(2) デザイン

廣村 正彰(廣村デザイン事務所)



(C) David Vintiner

藤本 壮介 (フジモト ソウスケ / Sou Fujimoto)

1971 年北海道生まれ。

東京大学工学部建築学科卒業後、2000 年藤本壮介建築設計事務所を設立。

2014 年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018 年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。

国内では、2025 年日本国際博覧会の会場デザインプロデューサーに就任。

2021 年には飛騨市の Co-Innovation University（仮称）キャンパスの設計者に選定される。

主な作品に、ブダペストの House of Music (2021 年)、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設(2021 年)、白井屋ホテル (2020 年)、L'Arbre Blanc (2019 年)、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013 (2013 年)、House NA (2011 年)、武蔵野美術大学 美術館・図書館 (2010 年)、House N (2008 年) ほか。



廣村 正彰 (ヒロムラ マサアキ / Masaaki Hiromura)

グラフィックデザイナー

1988 年廣村デザイン事務所設立。文化施設、企業、教育機関などのグラフィックデザインや、サインデザインを手がけている。

主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、TOTO MUSEUM、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFT のアートディレクション、東京 2020 スポーツピクトグラム開発に携わるなど。

近著『デザインからデザインまで』(ADP) ほか。

問い合わせ先

企画振興部 交通政策課 佐藤、山橋（内線 2160）

直通：(097) 506-2157